

# 週間感染症情報

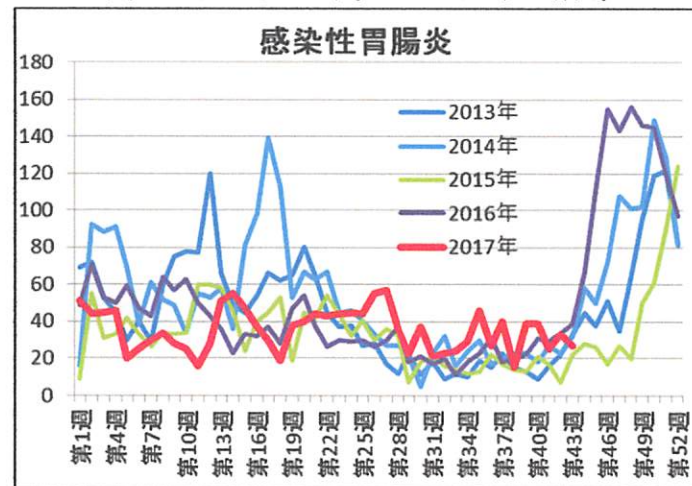
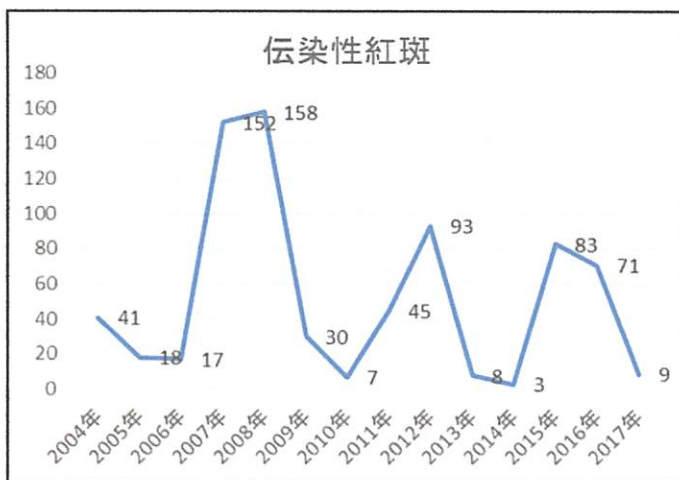
2017年43週 2017年10月23日より2017年10月29日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	6
手足口病	11
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	6
感染性胃腸炎	27
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	1
突発性発疹	4
伝染性膿痂疹(とびひ)	6
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	6
RSウイルス感染症	3
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	7
インフルエンザA	1
インフルエンザB	6
A+B	

西小のインフルエンザBは学年を超えて拡がり、兄弟を介して幼稚園でも患者が出ています。吉備医師会の報告のインフルエンザB6例は成人例を含めてすべて西小関連です。教育委員会の報告では、10月31日までに西小で7人久代幼稚園で3人の報告がありました。3連休に入りますので、このまま流行が終息して欲しいです。

久しぶりの伝染性紅斑の報告がありました。山手小の報告が5人と小流行があります。ヒトパルボウイルスB19により発症する、赤いほっぺのいわゆる「りんご病」と言われるウイルス感染症です。発疹が出て診断がついた時点ではほとんど感染力はなく、出席停止にはなりません。発疹が出現する数週間前に感冒症状を認め、このときに感染力があります。小児では軽症ですが、成人が罹患すると高熱や関節炎を起こしてリウマチと間違われることもあります。また、妊婦さんが罹患すると胎児に影響を起こすこともあり注意が必要です。幸い、感染力はそれほど強くありません。

ノロウイルスによると思われる、嘔吐を主とするウイルス性胃腸炎を見かけるようになりました。寒くなり、今後流行が立ち上がってくると予想されます。嘔吐は1～2日で治まり、重症の下痢を起こすことは少ないです。以前は、下痢のときは食べさすなと言われていましたが、絶食は下痢を長引かせるので食べられるものを食べさせるように指導しています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)